



## 少子高齢化と公益活動の継承

代表理事 安田 尚道

### 地域の少子高齢化への対応

私たち、ひたち NPO センター・with you は「市民活動を生み、育て、支援する」というミッションのもと「地域の問題を発見し、解決するなかで」実現するという活動スタイルで 24 年間にわたって公益活動を行ってきました。現在は、私たちが組織作りのお手伝いをしたかみね公園の花壇作りを行う団体「花友」の支援をおこない、また、市民農園「とまと倶楽部」、生活困窮家庭の児童生徒に対する学習支援、不登校の児童生徒を支援するフリースクールを運営してきました。今の時点から考えると、病後児保育「さくらんぼキッズルーム」の運営や、耕作放棄されそうなりんご園を市民により支援する事業など終了した事業を含めて、私たちは日立市を中心とする県北地域の少子高齢化にささやかにあらがう公益活動をしてきたといえます。この公益活動は市民の能力と地域への思いを公益活動につなげてきた活動でもありました。

### 市民の能力と地域への思いを公益へ

たとえば、「花友」の活動はシニアを中心に行われていますが、彼らの花壇作りの能力と地域社会への思いがかみね公園を訪れた人々のほっとする瞬間の機会を提供するという公益を作り出してきました。「花友」の活動は現在 17 年目に入っていますが、常時 50 名から 60 名ほどのメンバーで活動し、最終的には国土交通大臣賞をいただくほどの美しさを訪れた人々に提供してきました。同様に、将来の地域を担う子どもたちへの学習支援はボランティア講師の能力と子どもたちへの思いが「学習を通じた居場所作り」を通じて子どもたちの学習と自立の機会を提供するという公益に貢献してきました。この活動も日立市の一教室から始まり、12 年目に入っていますが、現在日立市で 6 教室、土浦市、つくば市でそれぞれ 1 教室あり(つくば市は 25 年度、他団体に継承)、ボランティア講師が常時、40 名から 50 名ほど、子どもたちは 100 名前後これらの教室で学習しています。

この様に、はじめから市民の能力と公益を結びつけるという構想をはっきりと持っていたわけではなく、「花友」はボランティア活動を作りだすボランティア講座がきっかけとなり、学習支援は無料の塾で社会に貢献したいという会員の思いから生まれたものでした。ボランティアの皆様の努力の積み重ねにより市民の共感によりボランティアも増え、実績も継続してあがってきました。それだけでなく、これらの活動が高齢化するシニアの生きがいを提供し、少子化する子どもたちの自立に資するなど、少子高齢化の問題にも応える思わざる結果を生み出しました。

### 人口減少のなかでの少子高齢化

ところが、少子高齢化の勢いは私たちもあらがうことができず、私たちの行ってきた公益活動の後継者、後継団体を育て、見つけ出すことができませんでした。また、少子化の影響で私たちの公益活動の対象者と担い手も減ってきています。

たとえば、私たちが学習支援を始めた 2014(平成 26)年と昨年 2024(令和 6)年の人口を比べてみましょう(「日立市の統計」各年度版、日立市総務課)。2014(平成 26 年)には、日立市の人口は 189,377 人(以下、十王含む)でしたが、2024(令和 6)年には 164,678 人と 13%の減少でした。これに対して 0 から 14 歳の人口は 22,908 人から 15,073 人と 34%と大幅な減少となっています。15 から 64 歳の生産年齢人口も 17%減っていますが、53,088 人から 56,216 人と 5%の増加となっています。つまり、少子高齢化が進んでいるのですが、日立では子どもたちの減少が加速度的に進んでいるだけでなく、増加する高齢者を支える現役世代も減少しています。それだけ、税収も減収となっています。言い換えると、税収の減少あるいは市債の増大の中で若そして若年層への福祉サービスを増やす必要性により今までと同じような福祉サービスは提供できないということになりましょう。それだけでなく、日立市の職員も税収の状況に応じて減らして行かざるを得ないでしょう。

## 第二世代へ

私たちは、日立を中心とする県北地域で地域の問題を発見し、解決する中で市民の公益活動を組織し、支援してきました。しかし、さらにNPOを地域に広げ、持続的にするには非力であり、継承者を作れませんでした。経済活動も公益活動も、市民の自主的、自発的活動なしには発展しません。経済的には日立製作所だのみではない、ものづくりを超える自主的、自発的な地域に貢献する実業人が求められるのと同様に、公共性を自主的、自発的に担う市民、いわば市民的公共性を担う第二世代も求められています。私たちのバトンは宙に浮いたまま、どこに行くのでしょうか。

### 2025年度第25回 通常総会開催

本年度 with you の第25回通常総会を、2025年6月28日(土)午前10時から午前11時30分まで、日立シビックセンター会議室にて開催いたしました。正会員総数19名中、12名出席(本人出席9名、書面表決3名を含む)が出席し、全ての議案が承認されました。

ありがとうございました。

### 「ひたち未来アカデミア」

今年度、ひたち未来アカデミアでは5名(小学生1名、中学生1名、高校生3名)の児童生徒が在籍しており、午前は勉強、午後は総合学習として学生や市民の協力のもと様々な体験学習を行っております。

#### ◇今後の総合学習イベント予定◇

9月13日(土):「昔遊び」

「TRICOLOR」(常磐大学、常磐短期大学)による、昔遊びや体を動かす形式の総合学習を開催予定です。

いくつかの昔遊びのブースに分け、生徒たちは自由にブースを移動し体を使った遊びを体験してもらいます。



### かみね公園入口花壇



ジニアや日々草、ポチュラカなど、暑い中、色鮮やかに咲いています。



### ひまわりデイキャンプ

日程: 第1回 7月12日(土)

場所: 里山キャンプ場

(旧茨城の軽井沢キャンプ場)

主催: 「TRICOLOR」常磐大学・常磐短期大学

内容: 流しそうめん、箸作り(ナイフワーク)、水風船玉入れ、オイルランタン作り、モルック、かき氷、等



### フードパントリーの開催

以下の皆様からのご寄贈によりフードパントリーを開催いたしました。無料塾の塾生家庭を対象に、お米や食料品、生活用品をお配りしました。

第1回: 7月19日(土)

◆ フードバンク茨城 様

◆ NPO 法人おてらおやつクラブ 様

たくさんのご寄贈、ありがとうございました。

### 会員募集

- 正会員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 3,000円
  - 賛助会員 個人 1口 5,000円を1口以上  
団体 1口 10,000円を1口以上
  - 情報会員 個人 3,000円 団体 5,000円
- ※詳細は事務局にお問い合わせください